



梅雨の「雨漏り」どう防ぐ？新築工事チェックで早めの備えを 約77%の新築住宅で、工事途中の防水処置に不具合が発覚

梅雨や台風などによる雨が多い時期に急増する「雨漏り」のトラブル。業界初の個人向け総合不動産コンサルティング・ホームインスペクション（住宅診断）、マンション管理組合向けコンサルティングを行う“不動産の達人 株式会社さくら事務所”（東京都渋谷区／社長：大西倫加）では、**過去2年間（2019～2020年）に実施した「新築工事チェック（227件）」のうち、防水検査の実施実績を分析いたしました。**その結果、**防水検査の実施件数103件のうち、76.7%にあたる79件で何らかの不具合が確認される結果となりました。**防水処置の不備は完成後の雨漏りやカビを引き起こす要因となる恐れがあるため、新築の場合は工事途中での検査が重要となります。検査結果の詳細や具体的な対策をご取材ご希望の方は、お気軽にお問合せください。

「新築工事チェック（建築途中検査）」とは？

工事中のミスや欠陥、手抜きを未然に防ぐ為に建物に精通したホームインスペクター（住宅診断士）が、第三者の客観的な立場から専門的に工事現場（施工）をチェックするサービスです。「間違いのない安心できる住まいを購入したい」「施工中の工事に問題がないかみてもらいたい」「欠陥住宅の心配から解放されたい」などのご要望にお応えします。

<調査概要>

調査対象：株式会社さくら事務所が実施した「新築工事チェック」
（実施件数227件、うち防水検査実施103件）

対象期間：2019年1月～2020年12月

<防水検査の指摘調査結果>

防水検査を実施した住宅のうち、76.7%（103件中79件）で不具合を確認。

具体的トラブルとして外壁防水シートの穴・隙間・破れ、貫通部の処理の不具合が半数以上に

<主なトラブル>

- ・外壁防水シートの穴・隙間・破れ **57.28%**（59件）
- ・貫通部（吸気口、排気口など）や袖壁天端の防水テープの未済 **57.28%**（59件）
- ・コーナー部や外壁取合い部の措置の不具合 **45.63%**（47件）
- ・防水シートの重ね幅などの不具合 **23.3%**（24件）



建物の完成後は内側のチェックができないため、工事途中での検査が必要となります。より広範囲の調査を実施するためには、工事開始2週間前～1ヶ月前などスケジュールに余裕を持ってお申し込みいただくことをおすすめいたします。

■新築工事チェック サービス料金

建築途中検査：1回55,000円（税込60,500円）

検査内容：基礎配筋／基礎立上り型枠／土台敷き／構造金物／外壁防水／壁（天井）断熱 など

完成検査（内覧会）：65,000円（税込71,500円）

※検査が1～2回の場合は、途中検査65,000円+税、完成検査70,000円+税となります。※ご相談は無料にて承ります。

サービスの詳細はこちら→ <https://www.sakurajimusyo.com/expert/koji-check.php>

■不動産の達人 株式会社さくら事務所 ■（東京都渋谷区／代表取締役社長：大西倫加） <https://www.sakurajimusyo.com/>

株式会社さくら事務所は「人と不動産のより幸せな関係を追求し、豊かで美しい社会を次世代に手渡すこと」を理念として活動する、業界初の個人向け総合不動産コンサルティング企業です。1999年、不動産コンサルタント長嶋修が設立。第三者性を堅持した立場から、利害にとらわれない住宅診断（ホームインスペクション）やマンション管理組合向けコンサルティング、不動産購入に関する様々なアドバイスを行う「不動産の達人サービス」を提供、52,620組*の実績を持っています。*21/5/31現在

本件に関するお問い合わせ・取材のお申込みは、お気軽に下記までご連絡ください。

株式会社さくら事務所 東京都渋谷区桜丘町29-24 桜丘リージェンシー101 <https://www.sakurajimusyo.com/>
TEL：03-6455-0726 FAX：03-6455-0022 広報室：石原・望月・星 press@sakurajimusyo.com